



被災地へ復興の願いを込めて、踊りました

被災地の復興を願って…九州フラガールキャラバン隊がフラダンスを披露しました

東日本大震災からの復興をフラダンスで応援しようと、3月2日(日)に、宇美八幡宮境内の大楠の下で、フラガールキャラバン隊によってフラダンスが披露されました。

80名~100名のフラガールが参加し、女声合唱コーラスうみと合同で、「花は咲く」等3曲を踊りました。3月9日に福岡市主催で大々的に行われるフラガールキャラバン隊の先駆けとして、宇美町から復興の願いを発信しました。



学芸員の話熱心に聞いていました

ふみの里をめぐる宇美ゆっくりウォーキングが開催されました

3月29日(土)に、ふみの里をめぐる宇美ゆっくりウォーキングが開催されました。当日は、あいにくの空模様となりましたが、約40名の参加者が宇美八幡宮→宇美公園→光正寺古墳→小林酒造本店という往復約3.5kmのルートを3時間半かけて歩きました。宇美八幡宮や光正寺古墳では、町の学芸員から文化財の説明を受けながら歩くなど、町の文化にも触れ、宇美町の魅力を再発見する機会となりました。

みるみるウォーク研修会が開催されました

3月15日(土)、地域交流センター多目的ホールにおいて、みるみるウォーク研修会が開催されました。この研修会は、みるみるウォーク会員の方を対象に防犯意識を高め、安全安心なまちづくりの実現を目指すことを目的として年に1回行われています。

今回は、粕屋警察署の安全安心課長から講演をして頂き、防犯に関するDVDを放映しました。その後、音楽企画ボランティアUMIプロジェクトによる「ありがとうの気持ちを伝える演奏会」が行われ、子どもから大人まで総勢30名で「上を向いて歩こう」等4曲を歌いました。



演奏会では、日頃みるみるウォークの活動をしている方に感謝の気持ちを込めて歌を歌いました

平成25年度福岡地区公民館研修会で原田下区の活動について事例発表を行いました

2月22日(土)に福津市において「平成25年度福岡地区公民館研修会」が開催されました。

粕屋地区を代表して、原田下区公民館の坂本武男さんが「公民館と中学校との連携活動について」という内容で、宇美南中学校3年生との交流を中心とした活動から、小中学校との文化発表会、防災訓練について事例発表を行いました。

参加者からは、「世代間の交流は素晴らしく、そういった環境がうらやましい」、「学校との防災訓練は大切」、「無理をしない中での活動は参考になる」などの意見がありました。



事例発表を行う坂本さん



甲子園出場を果たした三好君

宇美町の高校球児が春のセンバツ甲子園に出場!

3月21日から4月1日まで阪神甲子園球場で開催された第86回選抜高等学校野球大会に、長崎県の創成館高等学校3年生の三好将司さん(宇美ジュニアーズ球団出身)がチームの一員として出場しました。

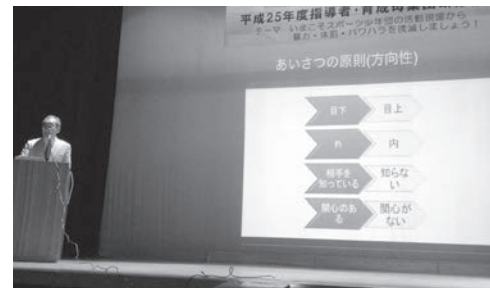
チームは、惜しくも初戦敗退に終わりましたが、次は夏の甲子園出場に向けて、三好選手の今後の活躍が期待されます。

スポーツ現場から体罰・暴力を撲滅～スポーツ少年団指導者研修会が開催～

3月18日(火)に中央公民館大ホールにおいて宇美町スポーツ少年団主催「指導者・育成母集団研修会」が開催されました。

当日はスポーツ指導者や保護者が約200人集まり、講師に元NHKスポーツアナウンサーの山本浩氏をお招きし、スポーツ界で見られた一連の体罰・暴力問題について講演されました。

参加した指導者や保護者は、子ども達の発育発達や精神的な成長に大人の影響が深く関係していることを確認し、今後の指導に活かす貴重な機会となりました。

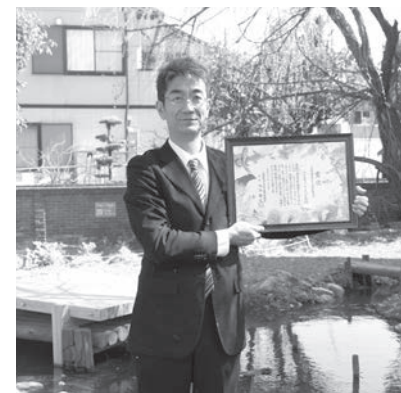


自身の体験から貴重なお話をされた山本さん

宇美小学校のビオトープが公益財団法人日本生態系協会賞を受賞しました

広報うみ12月号で紹介した、宇美小学校のビオトープが、「全国学校・園庭ビオトープコンクール2013ー生きものってスゴいねー」において、公益財団法人日本生態系協会賞を受賞しました。

宇美小学校のビオトープでは、様々な生き物が生活し、子どもたちの遊び場として、また学習の場としての役割を果たしており、自然と共存する美しい地域の発展に貢献したことが認められました。



自然体験の場として活用されているビオトープと賞状を持つ西田先生

自衛隊入隊予定者激励会が開催されました

3月16日(日)に、うみハピネスにおいて「自衛隊入隊予定者激励会」が宇美町自衛隊父兄会主催で開催されました。今回は、宇美町から7名の方が自衛隊に入隊予定です。

入隊に際し、木原町長はじめ、たくさんの方々から激励の言葉が送られました。



自衛隊の隊員と、入隊される方及びそのご家族